

こども計画策定に向けた現計画の評価（第2期ふじさんっこ応援プラン）

（こども未来局こども未来課）

1 要旨

「ふじさんっこ応援プラン」については、「(仮称)静岡県こども計画」に第3期相当の内容を包含することになることから、第2期プランにおける現時点の評価をもとに、本県のこども・子育て施策の課題を整理し、こども計画への反映方法を検討する。

2 評価の概要

令和4年度の間見直しにより、目標の最適化や上方修正も行いつつ、全体としては目標達成に向け、着実に進捗している。男性育休の取得率が前倒しで目標を達成したり、保育所待機児童数が着実に減少するなど、子育てと仕事の両立を推進する意識啓発や環境整備等が進んできた。

ただし中柱・小柱単位での進捗としては、未だ基準値以下、もしくは成果の伸び悩み取組も多々見受けられる。特に、少子化の進行に関係する若者支援、安全・安心な保育環境の充実、困難や貧困を抱えるこどもの支援等において、主な課題が確認できる。

（参考：成果指標結果(R4 事業実績)）

区分		目標値 以上↑	A↑	B→	C↓	基準値 以下↓	計	— (測定不能)	
基本目標1 結婚や出産の希望がかなえられる社会の実現		0	0	3	0	2	5	0	
中柱	1 未来を担う若者の育成と支援	0	0	2	0	1	3	0	
	2 子どもや母親の健康の保持・増進	0	0	1	0	1	2	0	
基本目標2 安心して子どもを育てることのできる社会の実現		1	2	2	3	0	8	1	
中柱	1 子育てと仕事の両立支援	0	1	0	0	0	1	1	
	2 地域の子育て支援	0	0	0	1	0	1	0	
	3 保育と放課後児童クラブの充実	0	0	1	1	0	2	0	
	4 子どもの健やかな成長を支える教育の推進	0	1	1	0	0	2	0	
	5 安全と安心の社会の形成	1	0	0	1	0	2	0	
基本目標3 すべての子どもが大切にされる社会の実現		2	0	2	1	4	9	0	
中柱	1 配慮が必要な子どもへの支援	1	0	1	0	2	4	0	
	2 子どもの貧困対策の充実	1	0	1	0	2	4	0	
	3 障害等のある子どもへの支援	0	0	1	0	0	1	0	
合計		54.5%	3	2	7	4	6	22	1

<中間見直し前>

過去 参考	令和3年度評価	45.5%	5	1	4	5	7	22	1
	令和2年度評価	36.8%	3	3	1	4	8	19	4

3 プランの進捗における主な課題（R4 事業実績）

基本目標	中柱	課題	掲載なし・記載不足の課題
1 結婚や出産の希望がかなえられる社会の実現	未来を担う若者の育成と支援	<ul style="list-style-type: none"> ● UI ターン就職支援は、学生の就職活動の多様化によるセンターの利用者数の減少や、社会人は現在の仕事や家庭環境等の様々な事情から就職活動が長期化する傾向。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>若者の経済的基盤の安定</u>
		<ul style="list-style-type: none"> ● 本県における<u>少子化をめぐ</u>る状況はより深刻化。 【婚姻数】 R2：13,846 件 → R4：13,114 件 【合計特殊出生率】 R2：1.39 → R4：1.33 ● 独身者へのアンケート調査によると、8割が結婚を希望するものの、その多くが<u>出会いの機会に恵まれていない</u>状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>若年女性の県外流出</u> ・ <u>若い世代・子育て世帯の移住促進（Uターン促進）</u>
2 安心して子どもを育てることのできる社会の実現	子育てと仕事の両立支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 男性の育児休業取得率は上昇しているものの、取得できない理由の上位は<u>職場や上司の理解のなさ</u>。 ● 男性育児休業の取得日数について、その約7割が<u>1ヶ月未満と短期間</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>女性のキャリアと妊娠・出産の両立</u> ・ <u>共働き・子育て</u> ・ <u>ワンオペ育児</u> ・ <u>働き方・意識改革</u>
	保育と放課後児童クラブの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 送迎バス内事故の再発防止に向け、送迎車両を運行する全ての保育所等で<u>安全対策</u>を見直す。 ● 保育所等における<u>不適切保育に関する認識</u>の共有と、<u>職場環境の改善</u>を進めることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>保育・幼児教育の質の向上</u> ・ <u>安心して子どもを預けられる保育環境の実現</u>
3 すべての子どもが大切にされる社会の実現	配慮が必要な子どもへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童虐待相談件数は依然として高い水準にあり、ヤングケアラーの問題が顕在化するなど、専門的知識に基づく的確・迅速な対応が必要。 ● 物価高騰の影響により、ひとり親が現職より給与条件の良い職を求め、求職登録者数が増加した一方で、希望の求人先を待つひとり親と企業側の条件面でのミスマッチにより、就職率が低下。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>児童虐待、若年妊婦、ヤングケアラー、いじめ、不登校、ニート、ひきこもりなどの困難支援</u> ・ <u>子育てや教育に関する経済的負担の軽減（具体的掲載）</u> ・ <u>アウトリーチ、伴走型支援等</u>
	子どもの貧困対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 不登校や、家庭や学校等に居場所のない子どもたちに対して、子どもが1人でも気軽に安心して立ち寄れる居場所づくりを進める支援が必要。 	
	障害等のある子どもへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療的ケア児（者）及び重症心身障害児（者）在宅支援の充実強化の一環として、適時適切な医療・福祉サービスが受けられるよう、研修を通じて看護職、介護職のエキスパートの養成を図っていくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>医療的ケア児支援</u> ・ <u>インクルージョンの推進</u>

4 こども計画への反映(明記)を必要とする項目(案)

3において抽出した現計画における主な課題については、その対応や支援について、静岡県としての特徴を打ち出しつつ、以下のとおり整理することで、こども計画への反映を検討する。

あわせて、今後全庁的な課題整理を行い、こども・若者施策を網羅する計画として策定作業を進める。

本県としての打ち出し方	課題	対応・支援(想定)
首都圏・中京圏に近い地理的弱点を克服し、地の利を活かす対策	・若年層(特に女性)の県外流出	・移住施策と連携したUIターン就職支援の強化 ・魅力ある働き方(先)の創出 ・ニーズに合った結婚支援の充実
希望のライフプラン実現を支援する仕事と子育ての両立促進	・女性のキャリアと妊娠・出産(子育て)の両立 ・共働き・共育て ・働き方・意識改革	・キャリア教育、ライフデザイン教育の推進 ・女性活躍推進 ・男性育児休業取得促進支援 ・働き方改革等の実行性の向上
子育てに優しい地域としての支援力の強化や活動の連携強化	・ワンオペ育児 ・孤育て	・地域の子育て支援力の強化 ・産前・産後・幼児期子育ての伴走型支援等(産後ドゥーラ、高齢者活躍等も検討)
事件・事故の経験を踏まえた保育現場の安全対策・環境整備の推進	・保育・幼児教育の質の向上 ・保育現場の安全対策 ・保育の職場環境改善	・安心してこどもを預けられる保育環境の整備 ・保育士の処遇改善等
計画の一元化に伴う、知事部局、教育委員会一体となった切れ目のないこども・若者支援の充実	・児童虐待 ・特定妊婦 ・ヤングケアラー ・いじめ ・不登校 ・ニート ・ひきこもり などの困難支援 ・医療的ケア児支援 ・インクルージョンの推進	・困難を抱えるこどもの掘り起こしと支援を強化(計画内での明示と取扱いの強化) ・アウトリーチ、伴走型支援等の推進 ・困難を抱えるこどもへの包括的支援体制の推進 ・ <u>子育て者に向けた支援の視点から、こども自身への支援の視点を強化</u>